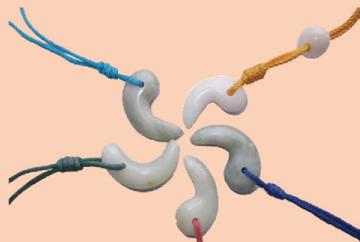


◇ミニ特集展示「ひたの勾玉」
～市内出土の勾玉大集合～



「勾玉づくり教室」の作品
現代・滑石製



中尾原遺跡（天瀬町五馬市）

古墳時代
メノウ製
碧玉製



古墳時代
硬玉製

金田遺跡（神来町）



弥生時代
土製

本村遺跡（清岸寺町）



古墳時代
メノウ製

平島横穴墓（諸留町）



縄文時代
クロム白雲母製

町ノ坪遺跡（神来町）

埋蔵文化財発掘調査速報展

本展示は平成29年度に日田市がおこなった発掘調査の成果を「埋蔵文化財発掘調査速報展」として、皆さまにお知らせするものです。

日田条里遺跡下中城地区では弥生時代や中世の建物、日田条里遺跡下道地区では奈良時代の溝などが発見されました。この他、柳ノ本遺跡や史跡廣瀬淡窓旧宅、城下町遺跡などの調査によって得られた成果や出土遺物の他、熊本地震で壊れた石垣の復旧工事を行っている史跡永山城跡の工事状況についてもパネルで紹介します。

また、ミニ特集展示として、これまでに日田市内で出土した勾玉やその他のいろいろな玉類の展示を行います。古代の人々の身体を飾り、時には祈りの対象となったといわれる勾玉の世界に触れていただきたいと思います。

日田市教育委員会

平成29年度
埋蔵文化財発掘調査速報展



日田条里遺跡下中城地区
（淡窓2丁目）



日田条里遺跡下道地区
（淡窓1丁目）



柳ノ本遺跡（若宮町）

～掘り出された日田の歴史～



城下町遺跡（草野家住宅）
（豆田町）



史跡廣瀬淡窓旧宅
（豆田町）



史跡永山城跡（丸山2丁目）

入場
無料

平成30年8月19日（日）
～平成31年3月29日（金）

休館日：土・日・祝日及び12/29～1/3 ※8/19のみ開館

開館時間：午前9時～午後4時

展示会場：日田市埋蔵文化財センター展示室

主催：日田市教育委員会

日田市埋蔵文化財センター

〒877-0078 大分県日田市友田2893-44（萩尾公園隣接）電話0973-26-3211

URL <http://www.city.hitaoita.jp>

展示内容についてのお問い合わせは

日田市文化財保護課埋蔵文化財係まで

〒877-8601 大分県日田市田島2丁目6-1 電話0973-24-7171 FAX0973-24-7024

展示遺跡紹介

遺跡MAP



1 日田条里遺跡下中城地区 (淡窓2丁目)

花月川左岸の微高地上に営まれた弥生時代中期以降の集落が確認された。周囲の状況から、この場所が集落境であった可能性を考えることができる。



2 柳ノ本遺跡 (若宮町)

三隈川右岸の沖積地では、弥生時代後期や古墳時代前期・後期の集落が確認された。西に向かって地形が下がっていることから、集落の中心は東側に広がっていると考えられる。



3 日田条里遺跡下道地区 (淡窓1丁目)

南側に広がる微高地との境界を示すように巡る古代の溝が確認された。周辺では、古代の公的施設に関する遺跡が見つかることから、この溝はそのような施設の敷地境を示す可能性がある。



4 史跡廣瀬淡窓旧宅 (豆田町)

旧宅北家の座敷北側、庭園をつくる際に行われた造成の痕跡が発見された。



5 城下町遺跡 (豆田町・草野家住宅)

主屋店舗部・仏間部の解体修理に伴い基礎構造の確認を行ったほか、18世紀前半から19世紀後半にかけてつくられた仏間部のカマドが発見された。また、店舗部の建築前に発生した明和の大火 (1772年) の痕跡が確認された。



6 史跡永山城跡 (丸山2丁目)

平成28年4月の熊本地震により崩壊した石垣の復旧工事は、伝統的な石積み技法に基づいた上で、より強い石垣を目指して石積みが進められており、かつての姿に戻りつつある。



近代 近世 中世 古代 古墳 弥生 縄文 旧石器

<p>1868年</p> <ul style="list-style-type: none"> 明治政府が成立する 永山城跡に日田県庁が設置される 筑後軌道日田駅が開業 久大本線が開通 	<p>1568年</p> <ul style="list-style-type: none"> 織田信長が上洛する 豊臣秀吉が天下を統一する 宮本長次郎が大隈蔵入地代官となり日隈城を築く 日田代官が西国筋郡代に昇格する 日田が幕府直轄領となる この頃、絵図に永山城が廃城と記される 江戸幕府が成立する 	<p>1192年</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府が成立する 室町幕府が成立する 大蔵氏の家系が断絶し、姻族の大友氏が継ぐ 大規模な堀に囲まれた建物群が建てられる 	<p>710年</p> <ul style="list-style-type: none"> 平城京に都が遷される 大波羅遺跡で日田部の部衙と考えられる大型掘立柱建物群が建てられる 小迫江原遺跡で官衙風配置の建物群が建てられる 豊後国風土記がつけられる 平安京に都が遷される 日下部氏が活躍し、大蔵氏が登場する 大蔵氏が活躍する 慈眼山遺跡でこの頃の念持仏が発見される 	<p>250年頃</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型の前方後円墳が造られる 小迫江原遺跡で居館が営まれる 鉄作りや須恵器作りが伝わる 宇土遺跡三号墳や長者原遺跡で墳墓が造られる 求来里川流域で初期須恵器やカマドが導入される 五〇〇年頃 筑紫君磐井の乱が起る 法興寺山古墳や六観音古墳などの表層古墳が造られる 朝日天神山古墳が造られる 盆地北部の台地斜面に横穴墓が多数造られる (小迫、北友田、夕田など) 	<p>約二千年前</p> <ul style="list-style-type: none"> 奴国王が中国皇帝より金印を授かる 吹上遺跡でオウガイがつけられる 約二千年前 九州北部に米作りが伝来 縄文・弥生時代の土器が使われる 約二千年前 土器・弓矢の使用が始まる 槍先形尖頭器や三角鏃が作られる 約五千年前 大きな貝塚集落が作られる 約四千年前 土偶作りが盛んになる 竪穴住居が作られる 約二千年前 九州北部に米作りが伝来 縄文・弥生時代の土器が使われる 約二千年前 土器・弓矢の使用が始まる 槍先形尖頭器や三角鏃が作られる 約五千年前 大きな貝塚集落が作られる 約四千年前 土偶作りが盛んになる 竪穴住居が作られる 	<p>約三万四千年前</p> <ul style="list-style-type: none"> 台形横石器・局部磨製石斧が使用される 高瀬Ⅲ遺跡で焼き火跡が見つかる
---	--	---	---	---	---	---

歴史年表

城下町遺跡・史跡廣瀬淡窓旧宅 | 史跡永山城跡 | 日田条里遺跡下中城地区 | 日田条里遺跡下道地区 | 柳ノ本遺跡